

トピック(テーマ)		警廃事件	
ねらい		大正15年6月、内務省の通牒をうけて長野県は6月30日、岩村田・屋代・中野の3警察署、軽井沢など14警察分署の廃止、小諸・岡谷警察分署の警察署への昇格などを内容とした警察署統廃合を告示した。実施前日の告示であり警察署廃止の3町は30日限りで郡役所が廃止となることもあって、3町を中心に警察署廃止反対運動が広がった。7月18日長野市で開催された県民大会は暴徒化して知事官舎・警察部長官舎・新聞社・廃止賛成県会議員宅などを襲撃した(警廃事件)。警廃事件は騒擾事件ではあったが、県当局の独断に対する批判の高まり、県民の地方自治に対する関心の高まりを喚起し、大正デモクラシーの底流ともなった。	
キーワード		県知事梅谷光貞 警察署・分署の廃止・統合 警廃事件 大正デモクラシー 郡制・郡役所の廃止	
概要を知るためのツール	1	書名	長野県警察史 概説編
		著者名	長野県警察本部
		出版社	蔦友印刷
		出版年	1958.7.28
		内容紹介	長野県警察本部の編集による本書は長野県警察史の基本的な文献である。第2章近代警察制度中の1節を警察分署制度の廃止(警廃事件)にあてていることから、警察にとってこの事件がいかに重大であったかを物語っている。警廃事件を調べる上で欠くことができない文献である。
資料リスト	1	書名	長野県史 通史編 第8巻 近代2
		著者名	長野県史刊行会
		出版社	信毎書籍
		出版年	1989.3.31
		内容紹介	第6章 第一次世界大戦以後の自治拡大と長野県民 第2節 警察行政の拡大と特別高等警察 3 警廃事件と県民 警察署廃止反対の町民運動、県民大会開催と騒擾事件など町民の動向や主張、事件の捜査など詳しく述べられている。
	2	書名	長野県政史 第2巻
		著者名	長野県
		出版社	第一法規
		出版年	1972.3.31
		内容紹介	第3章 社会問題の激化と県政 第3節 警察制度の発展と治安 2 警察行政の発展と警廃事件 警廃事件の契機、反対運動、騒擾事件、検挙・公判、警察署の復活の各項をたててこの事件を扱っている。
	3	書名	改定増補 長野県社会運動史
		著者名	青木恵一郎
		出版社	巖南堂書店
		出版年	1964.4.20
		内容紹介	日本の社会運動史の流れの中に、警廃事件を位置づけて叙述したものである。県民・県会が知らないうちに廃止を決定した天下りの官僚的専制支配にたいする反対のための民衆の暴動として大きな意義をもつものである、とこの事件を位置づけている。

	4	書名	長野県史 近代史料編 第4巻 軍事 警察・司法
		著者名	長野県史刊行会
		出版社	信毎書籍
		出版年	1988.3.20
		内容紹介	警廃事件に関して <ul style="list-style-type: none"> ・岩村田警察署廃止反対町民大会決議報道記事 ・警察署等廃合につき県宛上伊那郡町村長会陳情書 ・埴科郡屋代町外十七カ町村屋代警察署並工区出張所復活請願報道記事 ・警廃事件検挙状況につき報道記事 ・長野県警廃事件につき『警察協会雑誌』論文記事などの史料を収録している。
雑誌	1	論題名	問題提起 北信地域の住民運動：長野警廃事件を中心に（大会特集(1)「境(さかい)」と「間(あわい)」の地方史：信越国境の歴史像）
		著者名	望月 誠／著
		雑誌名	地方史研究
		出版年	2016.8
		巻号頁数	66(4) 62-66p
インターネット	1	サイト名	国会図書館サーチ
		URL	https://iss.ndl.go.jp/
		概要	警廃事件に関する図書、デジタル資料を探ることができる
	2	サイト名	信州ブックサーチ
		URL	https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html
		概要	警廃事件に関する資料を探ることができる
	3	サイト名	長野県市町村史誌目次情報ネットワーク
		URL	http://misuzu-mokuji.net/
		概要	市町村史誌の目次に警廃事件に関する項目があるか検索することができる
新聞	1	発行機関	信濃毎日新聞
		年月日	大正15年7月を中心に警廃事件に関する記事が多数掲載されている。
	2	見出し	屋代町 戦後50年 写真展
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊19ページ
		年月日	1995.10.17
	3	見出し	佐久署 警廃事件 記念碑清掃
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊18ページ
		年月日	2004.10.21